

## 施策の取組状況及びK P I の達成状況

### 【基本目標①】

○ 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

(1) 産業振興・雇用創出

① 国内外への市場拡大及び新商品開発支援

・ 新商品開発支援件数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	3件	0件 (累計3件)	2件 (累計5件)	0件 (累計5件)	1件 (累計6件)	20件 (5年累計)	D

#### 取組状況（平成27年度～令和元年度）

水産加工大賞が隔年開催となったこともあり、新商品開発支援件数は伸びなかったが、Sea級グルメ全国大会への参加や県内外イベントでの加工大賞商品の試食販売PR等により、市場拡大、新商品の開発支援に取り組んだ。

・ 国内外への市場拡大や企業誘致・起業・創業の拡大による雇用創出数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	19人	58人 (累計77人)	22人 (累計99人)	33人 (累計132人)	10人 (累計142人)	150人 (5年累計)	B

#### 取組状況（平成27年度～令和元年度）

市場拡大等により新規雇用を行う企業に対して、雇用促進奨励金を交付するなどして、雇用創出に取り組んだ。

・ ビジネスマッチング商談件数（圏域）

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	531件	456件 (累計987件)	711件 (累計1,698件)	651件 (累計2,349件)	663件 (累計3,012件)	1,800件 (5年累計)	A

#### 取組状況（平成27年度～令和元年度）

中海・宍道湖・大山圏域でビジネスマッチング商談会を実施し、毎年300社前後の参加があった。圏域のデータベース事業として、令和2年2月現在579社が登録し、圏域内外からの企業間取引活性化に繋がった。

・漁業所得

基準値 (2013年)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
15.2億円	15.3億円	21.9億円	25.6億円	28.1億円	19.7億円	19億円以上	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

「浜の活力再生プラン」に基づき、魚食普及事業や6次産業化、活魚施設の整備などの取り組みを行った。令和元年度からは「第2期 浜の活力再生プラン」を作成し、引き続き、販路拡大や観光との連携により漁業所得の向上に取り組んだ。令和元年度は漁船修理などで漁業コストが増加、水揚げ量も減少したため、例年に比べ減少した。

②農業・水産業の担い手育成・確保

・新規就農者

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	3人	0人 (累計3人)	0人 (累計3人)	2人 (累計5人)	0人 (累計5人)	5人 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

新規就農者を確保するための取り組みとして、生産基盤が脆弱な新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施した（農業次世代人材投資資金6件、就農応援交付金7件、青年就農給付金23件、就農条件整備事業20件（いずれも累計））。

・新規漁業就業者

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	15人	10人 (累計25人)	15人 (累計40人)	21人 (累計61人)	13人 (累計74人)	50人 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

新規漁業就業者を確保するための取り組みとして、新規就業者に対する研修を実施する事業者を支援した（漁業研修参加者数：累計74人）。

・「伯州綿」学習・体験事業開催数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	4回	14回 (累計18回)	20回 (累計38回)	28回 (累計66回)	26回 (累計92回)	70回 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

海とくらしの史料館での展示や、市民団体と連携した小学生の体験学習、市内外の保育施設や介護施設での綿繰りや紙漉きの体験を実施し、伯州綿に触れ合う機会を創出した。なお、当初のK P Iは60回だったが、実績を踏まえ、平成30年度に70回に上方修正した。

③企業誘致及び起業・創業の拡大

・誘致企業数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	2社	1社 (累計3社)	5社 (累計8社)	2社 (累計10社)	3社 (累計13社)	15社 (5年累計)	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

鳥取県と連携しながら、企業立地補助金の交付や固定資産税減免などの優遇策を用意し、誘致活動を進めた。

誘致実績…H27：弓ヶ浜水産(株)、(株)トライアルカンパニー H28：ダイレックス(株) H29：(株)J P S、(株)ナチュラルエナジーテクニカル、エンチーム(株)、ホテルエリアワンエンタープライズ(株)、ロッジ旅籠屋 H30：尾澤運送(有)、マックスバリュー西日本(株) R I：(株)ププレひまわり、(株)マルイ、(株)東京エネシス

・起業・創業社数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R I実績 (2019年度)	2019年度 K P I	評価 区分
—	5社	5社 (累計10社)	5社 (累計15社)	6社 (累計21社)	7社 (累計28社)	25社 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

市内で起業する人に対して創業支援補助金を交付した。

なお、当初のK P Iは10社であったが、実績を踏まえ、平成29年度に25社に上方修正した。

・起業・創業支援件数（相談対応含む）

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	35件	35件 (累計70社)	29件 (累計99件)	28件 (累計127件)	17件 (累計144件)	100件 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

鳥取県・境港市・商工会議所で連携しながら、相談対応にあたった。

・国内外への市場拡大や企業誘致・起業・創業の拡大による雇用創出数〔P1に掲載〕

（2）観光の振興

①観光地の魅力向上による滞在型観光の推進

・水木しげるロード年間観光入込客数

基準値 (2014年)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
230万人	197.2万人	214.7万人	204.1万人	273.4万人	300.9万人	年間200万人 以上を維持	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

「誰もが訪れたいくなるおもてなしとエンターテイメントのロードづくり」を基本構想に平成27年度～平成30年度に水木しげるロードのリニューアルを実施。リニューアル完了時には、地元有志による実行委員会が設置され、土曜夜市や、ハロウィンイベント・クリスマスイベント・フォトコンテストなどの自主企画を開催し、官民が連携し、地域の賑わいの創出と県外からの誘客に努めた。

・水木しげる記念館入館者数

基準値 (2014年)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
20.4万人	18.07万人	20.34万人	17.37万人	23.45万人	25.19万人	年間20万人 以上を維持	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成29年度はリニューアル工事のため入館者数が減少したが、リニューアル後の夏休み期間中は、水木しげる記念館の開館時間を20時まで延長するなど賑わい創出を図った。

・水産観光イベント来場者数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
4.6万人	5.05万人	5.09万人	5.21万人	4.78万人	6万人	5.5万人	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭に加え、沿岸漁業者が開催する「中野港漁村市」への開催支援や、おさかなガイドによる境漁港見学ツアーなど水産資源を活用した観光振興を図った。

・山陰いいものマルシェ来場者数（圏域）

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	4.5万人	3.3万人 (累計7.8万人)	2.3万人 (累計10.1万人)	—	—	15万人 (3年累計)	C

取組状況（平成27年度～令和元年度）

中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、平成27年～平成29年に米子・松江・境港で「山陰いいものマルシェ」を開催した。KPIの設定は3年間であるが、平成30年度・令和元年度も関連事業を実施しており、「クルーズ船仕入れ担当による視察ツアー」や大阪市等でのマルシェ開催を実施し、圏域商品のPRに努めた。

・クルーズ客船寄港年間観光客数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
1.4万人	—	3.96万人	6.65万人	6.12万人	6.39万人	7万人	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成28年度改定時に追加したKPI。境港管理組合を事務局とし、鳥取島根両県や中海・宍道湖・大山圏域市長会構成市、商工会議所や観光協会等で組織する境港クルーズ客船環境づくり会議が中心となって、クルーズ客船の誘致活動や、寄港時のおもてなしイベントや観光案内、二次交通対策を実施した。

寄港回数…H27:23回、H28:33回、H29:61回、H30:37回、RI:53回

② 外国人観光客の誘客促進

・クルーズ客船寄港年間外国人観光客数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
1.1万人	1.39万人	1.91万人	4.21万人	5.23万人	4.63万人	5万人	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

「クルーズ客船寄港年間観光客数」に記載の取組を実施。インバウンド対策として、外国語ボランティアガイドの体制構築など、受け入れ体制の整備を行った。

当初のKPIは3万人であったが、国のクルーズ訪日客数の達成目標が2015年実績から5倍増を目指していたため、当目標を基準に、平成28年度に5万人に上方修正した。

・国際線利用者数（ソウル便・香港便・チャーター便）

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
3.8万人	3.99万人	5.23万人	7.76万人	10.4万人	6.17万人	9.5万人	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

香港便の就航（H28.9月）やソウル便のLCC<sup>(※)</sup>化（H28.10月）の影響により、利用者数が大きく伸びた。国際定期便利用促進協議会を通じ、運航会社や旅行会社への支援、環日本海市民交流促進補助金により国際定期航路を利用した民間の国際的な文化・スポーツ交流を支援、国際定期航路のPRや支援制度の紹介を実施した。

令和元年10月より日韓関係悪化によりソウル便が運休したことにより、令和元年度実績が大幅減となった。なお、令和2年1月から新たに上海便が就航となったが、3月からコロナ禍により香港便と合わせて運休となった。

なお、当初のKPIは5万人であったが、平成28年の実績を踏まえ、6.5万人に上方修正し、また、平成30年度に9.5万人に上方修正した。

(※) LCC…Low Cost Carrier の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社のこと

・DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
1.7万人	2.77万人	2.81万人	3.37万人	2.63万人	9,294人	年間3万人 以上の維持	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

順調に推移していたが、令和元年7月を境に日韓関係の悪化から利用者が低下し、令和元年11月に運休となった。

当初のKPIは3万人であったが、平成29年度の実績を踏まえ、年間3万人以上の維持に修正した。

③ 米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進

・年間空港利用者数（ANA便）

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
49.6万人	54.9万人	57.2万人	58.0万人	59.0万人	57.7万人	60万人	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

米子空港利用促進懇話会や山陰国際観光協議会を通じ、県内外への観光PRのほか、市民に向けた利用促進を行った。

令和2年3月はコロナ禍により、前年比-30,300人の影響があった。

・国際線利用者数（ソウル便・香港便・チャーター便）〔P5に掲載〕

・DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）〔上記に掲載〕

（3）社会基盤の整備

③ みなとを核とした官民連携による賑わいづくり

・水族館設置に向けての基本構想策定

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	0件	0件	0件	0件	0件	1件	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成27年度に鳥取県と境港市が経費を負担し、境港管理組合が事業主体で、水族館の実現可能性調査を実施。平成28年度に調査結果の報告を受けたが、今後、境港市民交流センター（仮称）・水木しげるロードリニューアルなど大型投資事業があることから、財政状況を見極めた上で検討していくこととした。当面、設置に向けた協議は凍結され、第2期境港市総合戦略においても、KPI設定から除外したが、今後協議が再開される見込みとなった際には、追加することとしている。

・国内RORO船定期航路就航

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	0航路	0航路	0航路	0航路	0航路	1航路	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

航路就航を目指し、国内RORO船の試験輸送を実施した。

国内RORO船試験輸送実績…H27:1回、H28:3回、H29:3回、H30:2回、R1:2回

・クルーズ客船寄港年間観光客数〔P5に掲載〕

(4) 移住・定住の促進

① 移住・定住の促進・情報発信の充実

・移住定住者数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	69人	149人 (累計218人)	179人 (累計397人)	209人 (累計606人)	217人 (累計823人)	600人 (5年累計)	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成28年度に鳥取県西部地域9市町村共同で、ポータルサイト「TOTTORI WEST」の開設、移住ツアーの実施、動画作成、移住ウェブサイトへのリレーインタビュー記事の掲載等PRを実施した。

また、鳥取県と連携して『田舎暮らしの本』へのインタビュー記事の掲載や移住フェアへの出展を行った。

なお、当初のKPIは200人であったが、平成28年度の実績を踏まえ、600人に上方修正した。

・市外在住者の定期借地権契約件数

基準値 (2014年)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	9件	6件 (累計15件)	6件 (累計21件)	5件 (累計26件)	5件 (累計31件)	50件 (5年累計)	C

取組状況（平成27年度～令和元年度）

市外在住者の目標は達成できなかったが、平成27年～令和元年で78件（市内47件、市外19件、県外12件）の契約があり、市内への定住及び市外からの移住促進に寄与した。

パンフレットの新聞折込やポスティング、情報誌への掲載など行い、分譲地のPRを実施した。



・地域おこし協力隊員数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	3人	3人 (累計6人)	4人 (累計10人)	1人 (累計11人)	1人 (累計12人)	21人 (延べ) (5年累計)	C

取組状況（平成27年度～令和元年度）

伯州綿栽培を主な業務とする地域おこし協力隊であり、令和元年度までも市ホームページをはじめ東京や大阪での移住イベント等に出展し募集を行い、数件の問合せを受けたが任命にまで結びつかなかった事例もあった。令和2年度には伯州綿ホームページも新設したところであり、引き続き、伯州綿の取り組みや魅力を発信することで、継続的な隊員の確保に繋げていきたい。

## 【基本目標②】

○「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

(1) 少子化対策・子育て支援

① 出会いの場の創出

・年間婚姻件数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
386件	402件	434件	402件	411件	415件	450件	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成28年度に市内民間団体による婚活イベントの開催支援を行った。また、平成30年度より鳥取県の「えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）」の出張相談会を実施した。

未達成要因として、出産・子育て世代である20歳～39歳の女性人口の減少や、全国的な晩婚化、生涯未婚率の上昇が原因と考えられる。

・婚活支援事業参加者数(圏域参加者数)

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
210人	251人	178人 (累計429人)	151人 (累計580人)	141人 (累計721人)	155人 (累計876人)	1,200人	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

中海・宍道湖・大山圏域で連携して婚活事業を実施し、婚活イベントを米子市・松江市の2会場で開催した。平成28年度より、各会場の参加人数を絞っているため、参加者数は伸びなかったが応募者数は毎年200人を超えており、令和元年度も325人の応募があった。

② 安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実

・合計特殊出生率

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	RI実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
1.55% (H26公表値)	1.47% (H27公表値)	1.71% (H28公表値)	1.55% (H29公表値)	1.60% (H30公表値)	1.54% (RI公表値)	1.80%	D

取組状況（平成27年度～令和元年度）

妊婦を対象とした助成（妊婦健診・産後健診）、妊婦の夫や妊娠を希望する女性を対象とした助成（風しんワクチン予防接種）や乳児を対象とした助成（乳児健診・オムツ購入費等）、また、子育て世代包括支援センターの総合的な支援により、産み育てやすい環境づくりを行った。

未達成要因として、出産・子育て世代である20歳～39歳の女性人口の減少や、全国的な晩婚化、生涯未婚率の上昇が原因と考えられる。

・不妊治療後の母子手帳交付者数

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	9人	13人	12人	20人	14人	16人	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成29年度より、「一般不妊治療」「不妊検査費」に対する助成を開始し、負担軽減を図った。

・保育園待機児童ゼロの維持

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	0人 (H28.4現在)	0人 (H29.4現在)	0人 (H30.4現在)	0人 (H31.4現在)	0人 (R2.4現在)	待機児童 ゼロの維持	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

待機児童ゼロの維持のため、加配保育士の配置に係る費用の助成や1歳児の保育に係る保育士の配置人数を国基準より多く配置した場合の費用の助成を実施した。

・児童クラブ受入児童の拡大（小学校4～6年生の受入）

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
0校区	1校区	3校区	5校区	7校区	7校区	全7校区 実施	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

市内全7校区で児童クラブの受入対象児童を小学校6年生まで拡充した。なお、令和2年度から、誠道小学校の閉校に伴い6校区・7クラブ（うち1クラブは民営）で受入を実施。

・アンケート調査等による公園利用者満足度

基準値	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
—	未実施	60%	未実施	未実施	未実施	70%以上	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

平成28年度の公園ニーズ調査の調査結果から除草回数を増やしたり、また、地元自治会からの意見により、遊具を更新したりするなど環境整備に努めた。

(2) 女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

① ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

・「鳥取県男女共同参画推進企業」認定割合

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
3.2%	4.26%	5.33%	5.84%	6.16%	7.1%	8.0%	B

取組状況（平成27年度～令和元年度）

制度周知の説明会、事業所対象の講演会を開催し、平成30年度には第3次境港市男女共同参画推進計画を改定し、計画の周知と併せワーク・ライフ・バランスについての啓発及び理解の促進を図った。

② 女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減

・75歳以上人口に占める要介護認定者の割合抑制

基準値 (2019年度見込)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
38.0%	33.74%	32.75%	34.70%	34.62%	32.75%	37.0%	A

取組状況（平成27年度～令和元年度）

運動機能向上事業として「いきいき百歳体操」の普及を行い、公民館等で自主的に行う団体を支援した。また、「元気シニアを増やそう(フレイル<sup>(※)</sup>予防)事業」に取り組み、講演会、フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック、サポーターの連絡会などを実施した。

(※)フレイル…年を重ねて心身の活動(筋力・認知機能・社会とのつながり)が低下した状態のこと。

・高齢者地域見守り体制の整備

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
3地区 (2014年)	4地区	4地区	4地区	5地区	5地区	7地区	C

取組状況（平成27年度～令和元年度）

「境港市見守りネットワーク構築事業補助金」を交付するなどし、高齢者地域見守り体制の新規組織化を後押しし、渡地区、外江地区、上道地区、余子地区(竹内町)、中浜地区(小篠津町、幸神町)で体制が整備された。

## 【圏域の目標】

○県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会

・圏域への観光入込客数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
2,865万人	2,849万人	2,827万人	2,745万人	2,685万人	2,844万人	3,870万人	D

### 取組状況（平成27年度～令和元年度）

基準値が出雲大社の平成の大遷宮の翌年でKPIを高く設定したことや、外的要因（自然災害・天候不良など）により達成はできなかったが、大山開山1300年祭や不昧公200年祭、水木しげるロードリニューアル等の大型イベントによる集客を図った。

圏域として、国内へのプロモーション活動や三大都市圏に絞ったプロモーション活動等、イベントへの出展やメディアでのPRを実施し、令和元年度には、さらなる圏域経済の振興及び地域活性化を図るため、圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、本圏域のDMO組織を設立（法人化への移行及び観光庁日本版DMOの正式登録）・運営を開始した。

・圏域での外国人宿泊数

基準値 (2014年度)	H27実績 (2015年度)	H28実績 (2016年度)	H29実績 (2017年度)	H30実績 (2018年度)	R1実績 (2019年度)	2019年度 KPI	評価 区分
5.6万人	8.5万人	9.4万人	11.7万人	14.7万人	15.4万人	11.2万人	A

### 取組状況（平成27年度～令和元年度）

台湾や上海等の現地でのプロモーション活動や、インバウンド商談会への参加、オリンピックを契機とした欧米豪向けWEBプロモーション等を実施した。

また、圏域内観光パンフレットの多言語化や、観光案内所をはじめ業種別の各連絡会を開催するなど受入環境整備を進めた。

・山陰いいものマルシェ来場者数（圏域）〔P4に掲載〕

・ビジネスマッチング商談件数（圏域）〔P1に掲載〕